

MBA

KOBE UNIVERSITY

Master of Business Administration



神戸大学大学院経営学研究科 現代経営学専攻
(専門職大学院)



神戸大学MBAのねらい Course Objectives

神戸大学MBAが目指してきたのは、日本のビジネス界をリードする経営人材の育成です。日本企業は、独自の文化を背景に発展をとげてきました。海外においても、日本で培われた経営方式をもとに競争優位を確立している日本企業は少なくありません。一方で、日本の経営の基本を正確に理解し、日本国内はもちろん海外でも活躍できる人材が絶対的に不足しています。このような人材を養成することを主眼に、私

たちは30年を越える歩みのなかで、教育の内容とメソッドを時代に合わせて練り上げてきました。

日本においては、MBAの肩書きに会社で働くうえでのメリットはないといわれてきました。しかし、状況は確実に変化しています。「働きながら学ぶ」ことは、一時的なブームを経て、広く定着しつつあります。会社でのキャリアについても、個々人が主体的にデザインすることが求められる傾向が強まっており、ビジネ

スにかかわるナレッジ、スキルなどを学び続ける自己投資の必要性が高まっています。

また、MBA取得者に対する評価も高まってきています。会社の外に目を向ければ、MBA教育を受けることによって、コンサルティング会社やシンクタンクなどへの転職の可能性も出てきます。評価の高いトップスクールのMBA教育を受けることには、その投資に見合うメリットがあります。

神戸大学MBAの特徴 Course Characteristics

神戸大学MBAの特徴は、グローバルな経営教育の標準を押さえつつ、高度な経営能力を養う独自のプログラムを確立していることにあります。私たちのプログラムは、産業界のニーズを見す

えながら、常に進化しています。現在の神戸大学MBAでは、先端的な研究業績をもつ教授陣を通じて、経営学の専門知識を体系的に修得することに加え、フィールド(経営の現場)の課題を真

摯に見つめる姿勢を養うことを重視したプログラムを提供しています。そのために神戸大学MBAでは、会社で働きながら通学し、自らの仕事の現場をもちながら学ぶことを推奨しています。

神戸大学MBAの独自のプログラムは、3つのコンセプトで構成されています。

- ① 「プロジェクト方式」
(PRM: Project Research Method) *1
- ② 「働きながら学ぶ」
(BJL: By the Job Learning) *2
- ③ 「研究に基礎をおく教育」
(RBE: Research-based Education) *3

新たに2017年度から、神戸大学MBAは、この3つのコンセプトを補完する **コア科目群の体系化** *4 を進め、プログラムの強化をはかっています。5つの領域から成る神戸大学MBAのコア科目は1年次土曜午後に開講され、グローバルにMBAの標準となっている学習内容を体系的に学びます。その教授方法は、講義とケーススタディで構成され、一方向的な知識の伝授ではなく、インタラクティブな学びの場を提供するように設計されています。

コア科目群の導入により神戸大学MBAでは、ビジネス知識(理論)のグローバルな標準を、その背景とロジックを押さえて理解するとともに、経営の実務で活用する能力を養う学習の機会を体系的に提供していく体制を強めています。

図1 神戸大学MBAカリキュラムの構成
◆コア科目 MBAなら世界のどこにいても学ぶべき標準ナレッジとスキルを1年次土曜午後に手堅く押さえます(講義と演習[ケーススタディ]で構成されます)。
◆プロジェクト科目(必修科目) 学生間の切磋琢磨による学びを通じて、スキルとマインドを磨いていく場となります(主体的にケースの掘り起こしから取り組むことが求められます)。
◆専門科目(選択必修科目) 最新の時事的なトピックや神戸大学教員の研究成果を土曜午前・金曜夜に講義します。集中講義による英語授業もあります。

独自の教育方式 プロジェクト科目
◆ケースプロジェクト 6人前後の指定されたチームで指定されたケースに切り込んでもらいます。
◆テーマプロジェクト 各自で6人前後のチームを編成し自由にテーマを設定して研究してもらいます。
◆修士論文プロジェクト(現代経営学演習[ゼミ]) 14人前後のゼミのなかで個人で論理性の高い専門職学位論文を書き上げてもらいます。

*1 「プロジェクト方式(PRM)」とは

神戸大学MBAでは、経営教育における独自の体験型の教育メソッドを確立しており、全国に例をみないユニークなものとして、高く評価されています。企業経営にかかわる人材が備えるべき事業観、人間観、洞察力、行動力、そして企業家精神を学生が修得するために、神戸大学MBAが編み出してきたのが、「プロジェクト方式」と呼ばれる教育メソッドです。現在の神戸大学MBAでは「プロジェクト方式」による授業を必修3科目として提供しており、ここでは、実際のビジネス課題について、学生個人あるいはチームが、学生相互間さらには教員との間で討議を重ねながら、答えるべき「問い」を深掘りし、高度な解決策を構築していきます。この教育方法の重要な点は、解決するべき問題を教員が指定するのではなく、学生個人あるいはそのチームが、筋のよい問いの設定を競うなかで、リーダーとしての志を鍛えていく創発型学習となっていることです。

*2 「働きながら学ぶ(BJL)」とは

神戸大学MBAは、企業などの組織で働く人たちにフォーカスした教育を行っています。組織で働くことを経験済みの学生同士であれば、各人の知見や判断能力をぶつけ合い、教員のアドバイスを受けながら、経営の問題を解決するための能力を高めていく学習が可能です。さらに「働きながら学ぶ」学生であれば、学んだ理論について内省し、すぐに実践することができるというメリットもあります。神戸大学MBAは、こうした「働きながら学ぶ」ことの重要性を見すえ、土曜の週末集中講義、最短一年半で修了できるプログラムを開発してきました。このプログラムの人気は高く、神戸大学MBAを目指す受験者の方たちの重要な動機の一つになっています。

*3 「研究に基礎をおく教育(RBE)」とは

神戸大学MBAでは、常に最新の研究成果を踏まえた教育を行ってきました。研究に基礎をおく教育は、企業の現場の問題に対して、これまでにもどのような知識(理論)が蓄積されてきたのか、またはその問題の解決にどのような方法が使えるのかの把握を徹底的行っただけで、既存の知識や方法で解決しえないフロンティアに挑む姿勢をうながします。さらに神戸大学MBAでは、教育を通じた経営学研究の新たな発展を目指しています。経営学研究の先端を踏まえた教育を行うとともに、この教育からのフィードバックによって経営学研究のフロンティアを見いだします。このポジティブなサイクルから神戸大学MBAは、教育の内容とメソッドを絶えず進化させています。

*4 神戸大学MBAの「コア科目」とは

MBAなら世界のどこにあっても学ぶべき知識(理論)とその活用能力を養う教育を、神戸大学MBAではコア科目として体系化し、1年次土曜午後に集中的に提供します。神戸大学MBAのコア科目の教育の内容とメソッドについては標準化されており、年度の担当教員によって変更されることはありません。これらのコア科目では、講義とケーススタディを繰り返すことで、ビジネス知識(理論)の実践志向の習得を進めるとともに、ケーススタディからグローバルな経営事例に通じることができるよう、授業設計を行っています。神戸大学MBAは、以下の5領域をコア科目として提供しています。

- **マーケティング系**(Sales and Marketing)
- **技術経営系**(Technology and Operations Management)
- **組織・人材系**(Individuals and Groups)
- **会計系**(Controlling and Reporting)
- **戦略系**(Strategy)



神戸大学MBAの歴史 Course History



神戸大学は日本で最初の経営学部を設立した大学です。その後も神戸大学は、経営学の教育と研究の先端を走ってきました。神戸大学が授与した博士学位は500人を越えており、その修了者は国内外の大学で経営学の教育や研究に携わり、神戸大学は国内外の経営学研究のセンターとなっています。

神戸大学は1989年度に、MBAプログラムへのチャレンジを開始しました。これは日本では慶應義塾大学に次いで古い本格的なMBAプログラムです。

日本の経営系の大学院を、アカデミックな教育の場からビジネス人のための高度な教育を行う場に拡充する改革についても、神戸大学は先陣を切って参加しました。

当初の10年間ほどの神戸大学MBAは、実験的なプログラムでした。しかし現在では、安定した支持を集めるようになっており、神戸大学MBA(経営学修士)ホルダーはすでに1,600人を越えています。

神戸大学MBAの修了要件 Requirements for Completion

神戸大学MBAを修了するためには、34単位以上の修得が必要です。また、プロジェクト研究に参加し、専門職学位論文(修士論文)を作成し、審査に合格することが必修です。

プロジェクト研究の単位は、12単位(「ケースプロジェクト研究」「テーマプロジェクト研究」(各2単位)と「現代経営学演習(ゼミ)」(8単位)の合計)です。神戸大学MBAを修了するためには、プロジェクト研究に加えて、講義科目(「コア科目」と「専門科目」)から22単位以上修得する必要があります。



図3 神戸大学MBAの履修の流れ

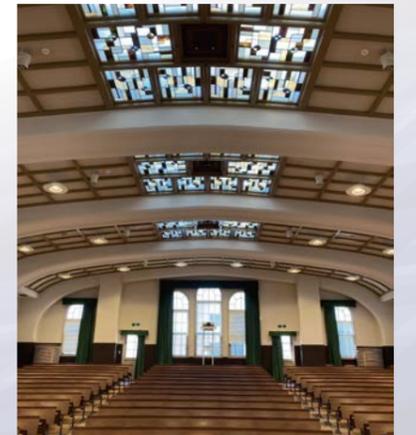
		1.5年履修コース		2年履修コース	
		必修科目(プロジェクト研究)	選択必修科目	必修科目(プロジェクト研究)	選択必修科目
一年次前期	4月~8月	ケースプロジェクト研究 2単位	11科目 (22単位)以上 を履修	ケースプロジェクト研究 2単位	11科目 (22単位)以上 を履修 [2年後期に 希望者は 海外留学]
	9月	テーマプロジェクト研究 2単位		テーマプロジェクト研究 2単位	
一年次後期	10月~1月	現代経営学演習 論文作成 8単位		現代経営学演習 論文作成 8単位	
	2月~3月				
二年次前期	4月~7月				
	8月	専門職学位論文提出		専門職学位論文提出	
	9月	審査 公開発表会 学位記授与式		審査 公開発表会	
二年次後期	10月~2月				
	3月			学位記授与式	

※2年履修コースの場合は、2年次1月に専門職学位論文を提出して2月に審査を受けることも可能です。

土曜集中型の受講 Intensive Course on Saturday

神戸大学MBAでは2008年度より、土曜のみの履修で、1年半で修了することが可能なプログラムを提供しています。つまり修了に必要な単位数を、土曜提供の科目の修得のみで満たすことが

できます。また、金曜の夜間にオンラインで提供される科目を選択履修することも可能です。また、勤務の都合などで集中的に受講できない場合には、2年間で修了することも可能です。





入学試験概要 Entrance Examination

詳細は、神戸大学MBA学生募集要項を確認してください。

募集人員

神戸大学MBAの募集人員は約70名です。

入学試験と選考の基準

神戸大学MBAは、経営学全般についての高度な専門知識と特定分野についての深い専門知識、論理的思考能力と実践への適用能力、国際社会に通用する思考力、判断力およびコミュニケーション能力を修得し、日本のビジネス社会の中核となる人材の育成を目的としています。

- 経営学・会計学・商学について、その原理を探究しようとする強い熱意を持つ者
- 経営学・会計学・商学における諸問題を解明するのに必要な科学的方法論を身につけることができる基礎的能力を持つ者
- 職務経験を有し、経営学・会計学・商学の成果を実践へと適用できる能力を持つ者
- 日本のビジネス社会の中核人材であるという意識を持ち、国際社会に通用する思考力、判断力、コミュニケーション能力を高めたいという熱意を持つ者

以上のような学生を選抜するために、入学試験では「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」「関心・意欲」を測ります。

※MBAプログラムは、厚生労働省が実施する「専門実施教育訓練給付金」制度の専門実施教育訓練講座として指定を受けています。一定の条件を満たした方は給付金が受けられます。

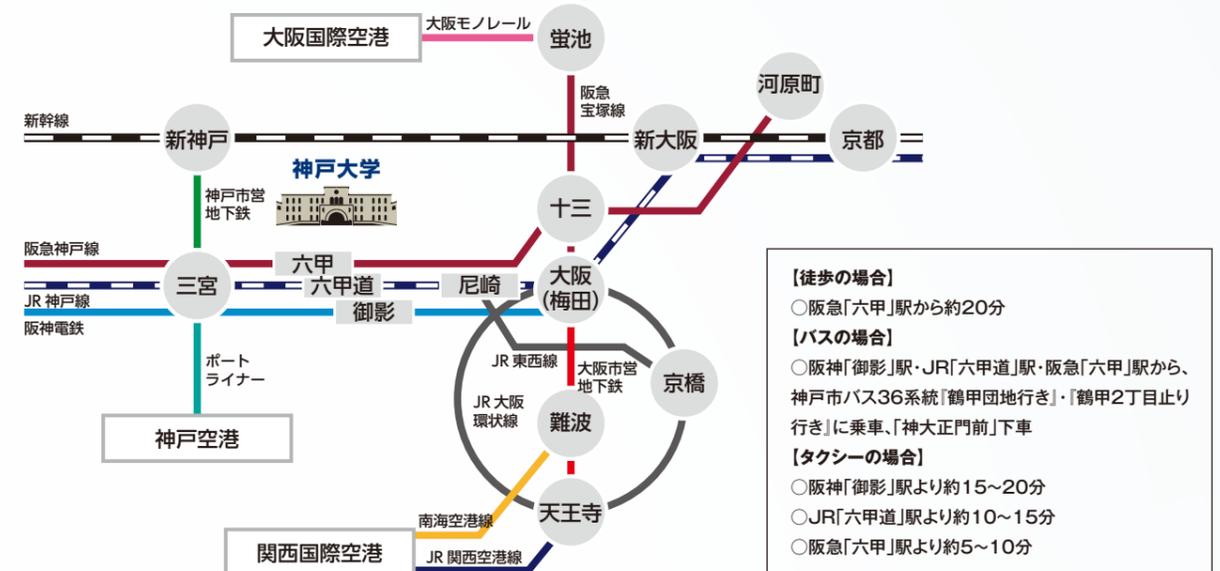
お問い合わせ Contact

出願期間や入学試験の日程、出願に必要な書類等については、募集要項を参照してください。募集要項はホームページで公開しています。また、神戸大学MBAホームページではカリキュラムや学生へのインタビュー等、詳細な情報を掲載しています。

所在地	〒657-8501 神戸市灘区六甲台町2-1 神戸大学大学院経営学研究科 教務グループ
TEL	078-803-7258(平日・土曜日 9:00~17:00)
FAX	078-803-7294
E-mail	mbakyomu@b.kobe-u.ac.jp
ホームページ	https://mba.kobe-u.ac.jp



アクセス Access



キャンパスマップ Campus Map





神戸大学大学院経営学研究科 現代経営学専攻(専門職大学院)

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町2-1 神戸大学大学院経営学研究科 教務グループ
TEL 078-803-7258(平日・土曜日 9:00~17:00) FAX 078-803-7294
E-mail mbakyomu@b.kobe-u.ac.jp HP <https://mba.kobe-u.ac.jp>

